



ふくしものがたり

FUKUSHIMONOGATARI



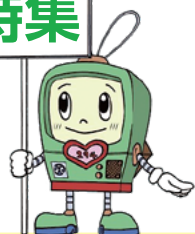
支えあいのまちづくり
を目指して



寺子屋・宿題おたすけ隊の様子

特集

相談支援係を紹介します



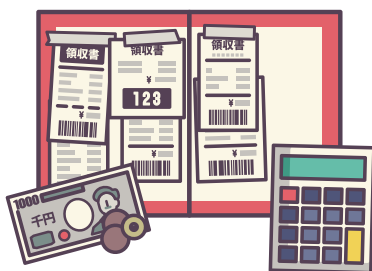
相談支援係では、個々の困りごとを丁寧にお聞きし、その方の意思を尊重し寄り添いながら課題の解決に向けたお手伝いをしています。

1. 生活の再建・自立に向けた支援

仕事や家庭の事情等により経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方へ包括的な支援を行います。

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活に困窮する世帯の困りごとをお聞きし、仕事・住まい・家計等、あらゆる生活課題を解決するための支援計画を作成し、生活再建に向けたお手伝いをします。



(2) 貸付事業 (要件あり)

①生活福祉資金貸付事業(相談、申請窓口業務のみ)

低所得、障がい者及び高齢者世帯を対象に、資金の貸付と合わせて必要な相談支援を行い、世帯の経済的自立を支援します。

②小口資金貸付事業

緊急一時的に生活資金等にお困りの世帯を対象に、生活の維持、安定を目的に必要な資金(限度額5万円)の貸付を行います。



(3) 食糧支援・生活必需品の貸出

緊急一時的に生計の維持が困難となった世帯に、食料等の提供やカセットコンロ、炊飯器等の貸出を行い世帯の自立を促します。



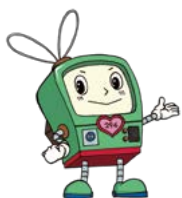
(4) 無料職業紹介事業

生活困窮者自立支援事業を利用する方を対象に、「無料職業紹介事業」を開始しました。

職業相談・紹介・求人情報の提供等を行います。



● 求人情報募集中です ●

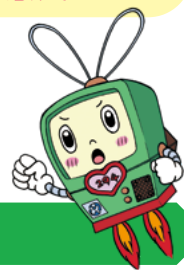


現在、求人を希望される企業・事業所の皆さまを大募集しています。求人には「下妻市無料職業紹介所」への登録が必要となりますので、求人票に必要事項をご記入のうえお申込み下さい。
※詳しくは本会ホームページをご覧ください。



2. 高齢者・障がい者等の権利を守る支援

成年後見サポートセンターしもつまを設置し、認知症や障がい等により判断能力に不安のある方に不利益が生じることのないよう成年後見制度と日常生活自立支援事業の2つの事業を行い権利擁護支援に努めています。



成年後見サポートセンターの業務

(1) 利用・相談支援

成年後見制度・日常生活自立支援事業の利用や手続き等の相談、申立支援のお手伝いをします。



(2) 広報・啓発活動

社協HPや広報紙、出前講座を実施し事業の周知、利用促進を図ります。



(3) 法人後見の受任

市内在住で適切な後見人等が得られない方に対し、下妻市社会福祉協議会が法人として後見業務を行います。(運営委員会の承認、家庭裁判所の審判が必要です)



(4) 受任調整支援

判断能力が十分でなく適切な後見人等が得られない方のために、専門職からなる会議を開催し、後見人等候補者の選出について調整を行います。



成年後見制度と日常生活自立支援事業との比較

	成年後見制度	日常生活自立支援事業
概要	判断能力が不十分で財産管理・身上保護等の必要がある方に対し、後見人等が本人の意思を尊重し法的な支援を行うことで権利擁護を図る	判断能力が不十分の方に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等の援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援する
対象者	認知症や障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方（保佐・補助）及び判断能力が全くない方（後見）	認知症や障がいなどの理由により、判断能力が十分ではないが、契約内容が理解できる方
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 財産管理に関すること（不動産売買や遺産分割協議など） ● 身上保護（医療・介護サービス・施設入所契約） ※食事の世話・身体介護は含まない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的な金銭管理 ● 福祉サービス利用援助
手続き	家庭裁判所に申立て	市町村社協に相談・申込み
契約の解除	一度申立てをすると家庭裁判所の許可がないと取下げできない	本人の意思により契約を終了することができる
費用	本人の財産から負担 ※金額は家庭裁判所が決定	<ul style="list-style-type: none"> ● 1時間1,100円＋交通費37円/1km ● 書類預り料500円/1ヶ月（金庫利用の場合） ※契約締結までは無料

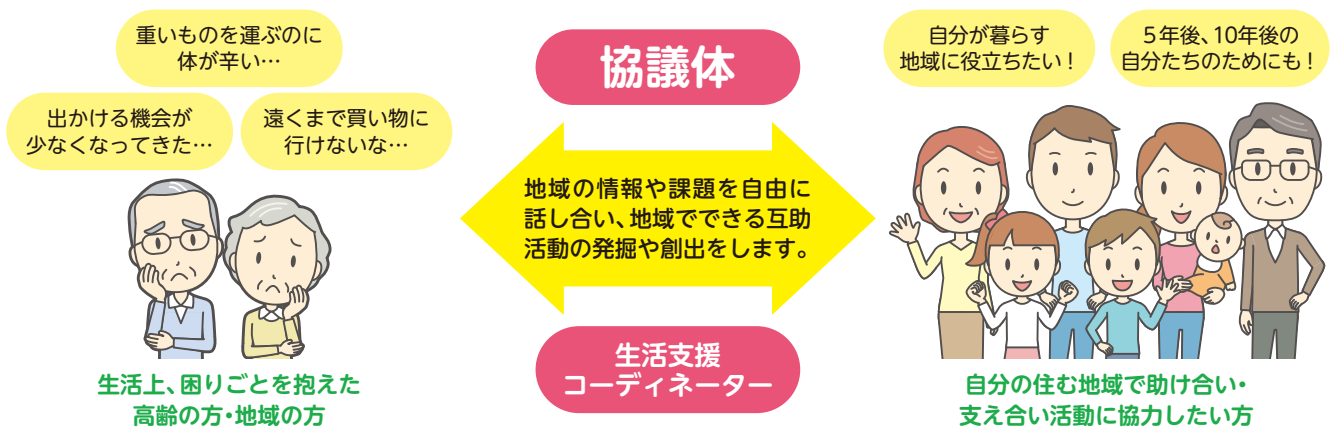
しもつまコミュニティ



「住み慣れた地域」が「暮らしやすい地域」となるために…

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などが増加するなか、新型コロナウイルスの感染拡大以降、生活スタイルの変化により、人や地域のつながりが希薄化し孤立・孤独を感じる人が増えていると言われています。

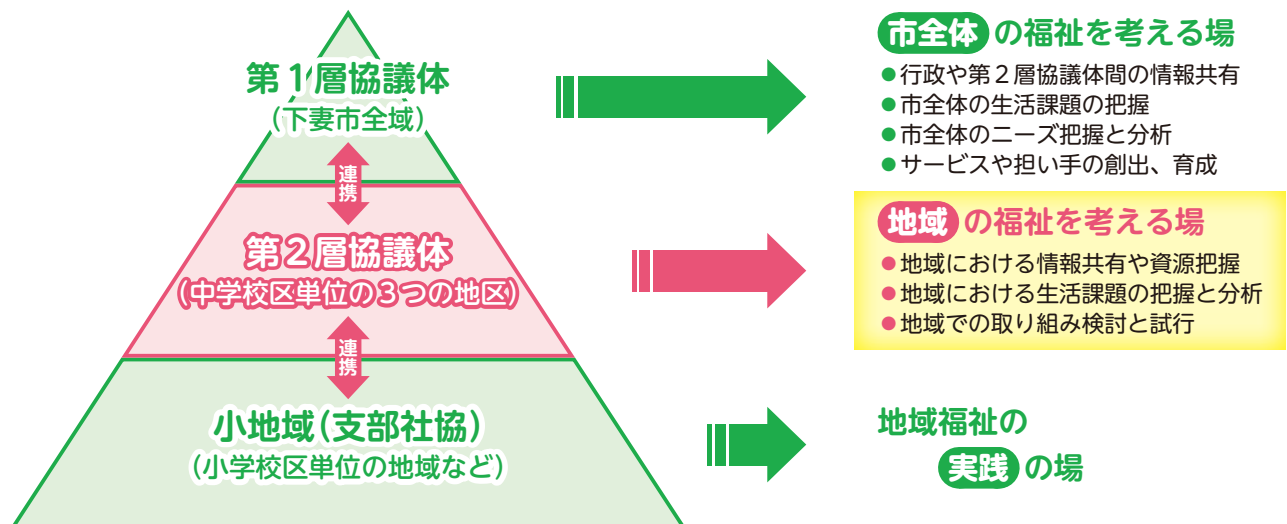
生活支援体制整備事業では、年齢を重ねても“住み慣れた地域で安心して暮らし続ける”ことができるよう、地域にお住まいのみなさんをはじめ、行政、ボランティア、民間企業などの多様な団体と協力しながら、お互いに支え合う地域づくりを目指しています。



活動の中心は、中学校区ごとの『第2層協議体』

下妻市では、地域課題の発掘や解決策などを話し合う『協議体』を設置しています。そのなかでも取組みの中心を担うのは、中学校区ごとに設置された『第2層協議体』です。

下妻市社協では、令和6年度より各地区に担当の生活支援コーディネーターを配置し運営を支援しています。



下妻の『第2層協議体』をご紹介します！

地域・市・社協が一緒になり“高齢になっても安心して暮らせるように、自分の住む地域がこうなったらいいな…”を、気楽におしゃべりしながら話し合っています。

どなたでもご参加いただけますので、ご興味のある方は社協までお問い合わせください。



名 称：下妻地区協議体「さぬま」
開催日：第3水曜日 13：30～15：00
場 所：福祉センター砂沼荘



名 称：東部地区協議体「チーム・ファイト！」
開催日：第2月曜日 13：30～15：00
場 所：市役所



名 称：千代川地区協議体
開催日：第4火曜日 9：30～10：30
場 所：千代川公民館



東部つくし会によるお楽しみサロンが始まりました

6月10日（月）中郷ふるさとコミュニティセンターにおいて中郷地区を対象としたお楽しみサロンが開催されました。このサロンは、ボランティアサークル「東部つくし会」が“ご近所の皆さんと一緒に食事や楽しい時間を過ごす”ことを目的として開催しており、当日は浜木綿朗読の会による朗読や、交通安全母の会下妻支部長 塚田ヒロ子様による交通安全講話の後、彩り豊かな手作りの食事を近所の皆さんとボランティアさんが、一緒に食べながら楽しいひと時を過ごしました。

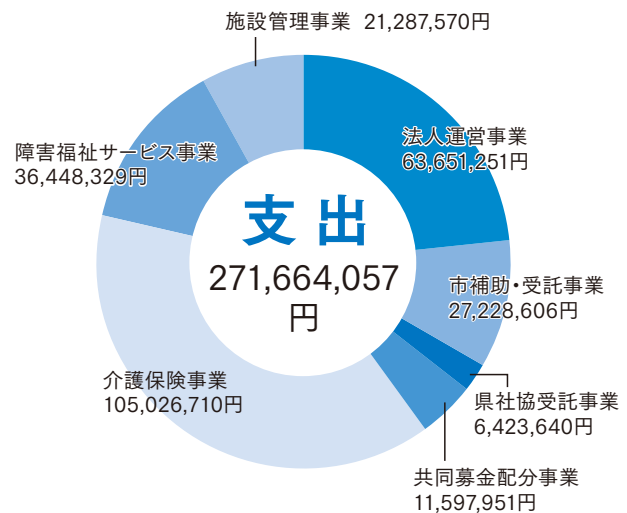
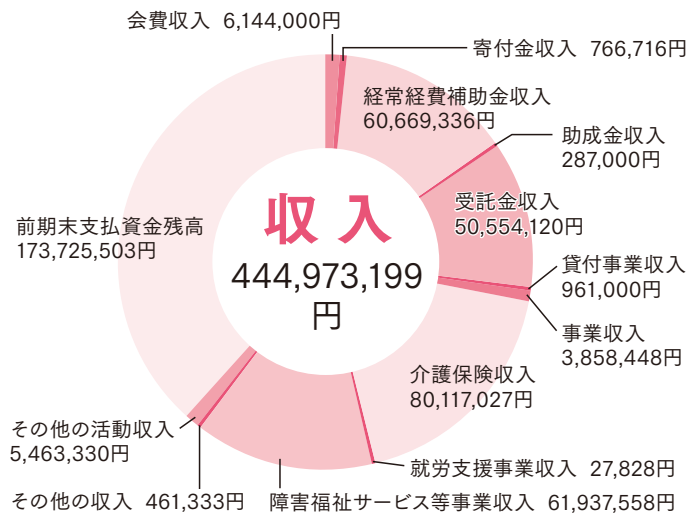
東部つくし会では、地域の方々と協力をしながら今後もお楽しみサロンを開催予定です。ご期待ください。



令和5年度 社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告・決算

新型コロナウイルスの位置づけが5類に移行しましたが、コロナ禍や物価高騰で生活に困窮した多くの人々の生活は依然として厳しい状況が続いているため、今年度も対象となる世帯への支援を重点的に行いました。

また、1月の能登半島地震に見られるような地震災害や、水害等の自然災害が日本各地で毎年発生する中、今後予測される災害に備えるための取り組みを含め各種事業を実施しました。



主な事業を一部ご報告します

1 生活困窮世帯への支援

様々な要因により生活に困窮する世帯に対し、食糧の支援をはじめ家計の改善や就労支援等を行い、世帯の自立へ向けた支援を行いました。



2 協働型災害ボランティアセンターの運営訓練


今後起こりうる自然災害に備え、市内関係機関・団体と協力して災害ボランティアセンターの運営訓練を実施し、発災時に連携・協働できる関係づくりに努めました。



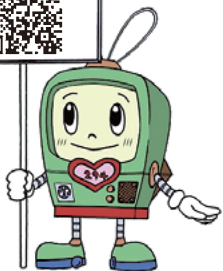
3 「成年後見サポートセンターしもつま」の開設

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利が守られるよう、サポートセンターを開設し、成年後見についての相談支援等を実施しました。



下妻市社協 HP → 

その他の実施した事業につきましては、下妻市社協ホームページよりご覧いただけます。



Information

刃物研ぎボランティア養成講座

5月17日（金）に千代川公民館において刃物研ぎボランティア養成講座「プロから教わる包丁研ぎ教室」を開催しました。“自分の包丁は自分で研ぐ”をコンセプトに「包丁研ぎ丸い」の店主 伊藤純雄さんを講師にお招きし、包丁研ぎの講話と研ぎ方のご指導を頂きました。自分で研いだ包丁で試し切りをしたトマトの薄さに参加者一同歓喜の声が上がりました。



在宅福祉サービスセンター「あおぞら」・子育て支援「ファミリーサポートセンター」協力会員交流会



6月11日（火）に30名参加のもと協力会員交流会を開催しました。行き先となった埼玉県造幣局では、貨幣の歴史や作り方、技術などを学び楽しく工場内を見学することができました。

参加者からは「関わりの少ない方と交流できてよかった」「また来年も計画してほしい」との感想をいただきました。

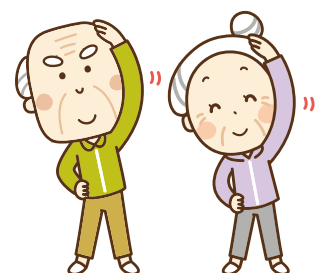
からだを使って親子で遊ぼう

令和6年6月30日（日）に作業療法士の小林良先生をお迎えして、「からだを使って親子で遊ぼう」を開催し、9組の親子の参加がありました。ジャンプをしたり、転がったりと子供たちの笑顔が絶えないイベントになりました。参加者からは「家でもやってみたい」と感想をいただきました。



『砂沼荘』お客様感謝デー

毎月第1日曜日は**入館料無料**
★市外在住の方も無料です
皆さまのご来館をお待ちしています。



古切手	
塚田 ヒロ子	
飯泉 正夫	
渡辺 せつ子	
萩原 富美枝	
沼田 かつ子	
ケアプランセンター結 高橋 久江	
(月光)栗野歌謡教室	
愛宕園	
山野辺工業㈱	
人形のきくや	
(株)サンエパー	
満願寺	
(株)TAIYO	
訪問看護ステーションしもつま	
筑波大学附属病院ドクターズアシスタント	
退公連 下妻支部	
下妻市小友幼稚園	
認定こども園 ふたば文化	
下妻地方広域事務組合	
市役所税務課	
市福祉課	
ひばりの	
匿名 5名	

預託金	
白鳥 文子	10,000円
山野辺工業㈱	25,896円
同芳会バスケット部	6,984円
(月光)栗野歌謡教室	430円
満願寺	6,051円
石の宮自治会	11,239円
下妻市茶道連盟香出水会	13,493円
下妻砂沼郵便局	6,056円
フラワーカップ実行委員会	75,000円
フラワーカップ実行委員会	75,000円
フラワーカップ実行委員会	41,498円
匿名 1名	42,591円
書き損じハガキ	
(月光)栗野歌謡教室	
退公連 下妻支部	
匿名 4名	
生活用品(マスク・紙オムツ・おしりふき・タオル・衣類など)	
浅野 尚代	
渡辺 せつ子	
林 秀行	
退公連 下妻支部	
JA常総ひかり女性部下妻支部	
匿名 8名	

フードバンク(お米・レトルト食品・保存食など)	
(株)カスミ	
フードスクエア下妻ふるさわ店	
フードスクエア下妻店	
フードオフストッカー千代川店	
(株)TAIYO	
フードバンク回収BOX(きずなBOX)	
下妻公民館・砂沼荘・千代川公民館・	
大宝公民館・図書館・下妻市役所	
JA常総ひかり下妻支店	
JA常総ひかり下妻千代川支店	
ファミマフードドライブ	
ファミリーマート市内全店舗	
下妻市民生委員児童委員協議会	
光ハニー	
浅野 尚代	
浅野 祐美	
佐口 政宏	
匿名 10名	
お届け先	
※食糧品➡お菓子・調味料・お米・ペットボトルお茶など	
お茶NOMA	
個人延べ 93名	
※介護用品➡紙オムツ	
市内介護施設	

ボランティアサークル紹介 vol.2

フレンズ (手話サークル)

手話のサークル「フレンズ」として令和3年に発足し、現在活動をしています。まだ発足して3年程度ですが、前身は平成14年設立の手話サークル「アイラブユー」で、現在の会員のほとんどがアイラブユーから継続している人達です。

活動としては、下妻市内の小学校にて行われる福祉教育の授業で、手話体験教室などのお手伝いをしているほか、毎月第1・第3火曜日に会員が集まり、「話せる手話」の研鑽をしています。

皆さんも楽しみながら手話でお話をしてみませんか？新会員大歓迎です。興味のある方は是非一度見学に来てください。



下妻エコの会リポーン

下妻エコの会リポーンは2013年4月に発足し、現在会員は30代～70代の男女15名です。エコの会では、廃油を利用したエコ石けん作りやアサガオのグリーンカーテンによる地球温暖化対策の推奨、間伐材の再利用によるマイ箸づくりなど、様々なエコ活動の他、市内の小学校で行われる福祉教育などにも協力をしています。また、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限中は、会員有志が子供用布製マスク作りに着手、市内の施設への寄贈も行いました。

今後も「エコは自分ができることから始め、実践する」を皆さんとともに、推進していきたいと思ひます。





わくわくみんなの

防災

ハロウィン

2024

Trick or Treat
ハロウィンパレードもあるよ
仮装OKです



開催日時

10/5 土

あさ 10 時～ごご 2 時

開催場所

イオンモール下妻

同時開催

茨城西南広域消防フェア

共 催：下妻市社会福祉協議会 茨城西南広域消防本部 イオンモール下妻
参加団体：Shi♡shimai・ガールスカウト茨城県第 42 団・しもつま外国人支援ネットワーク TOMODACHI
みらい子育てネット下妻・災害ボランティア名もなき団体・下妻エコの会 リボン
でこぼこキッズ凸凹親の会「にじいろ☆すまいる」・まちづくり市民グループ しもつま3高
協 力：下妻市・自衛隊筑西事務所・下妻警察署・株式会社良品計画・下妻市観光協会

ご協力をよろしく申し上げます

赤い羽根共同募金運動



運動期間 10月1日から12月31日

今年も10月1日から全国一斉に**赤い羽根共同募金**がスタートします。

下妻市共同募金委員会では、毎年10月1日から12月31日を期間として赤い羽根共同募金運動を推進しており、福祉関係者や区長の皆さま、市内企業・学校等のご協力のもと、様々な募金運動を展開しています。

皆さまからお寄せいただいた募金は、下妻市の地域福祉や高齢者・障がい者・児童福祉、ボランティア活動など様々な社会課題・地域課題を解決するための活動に役立てられます。

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するため、皆さまのあたたかいご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年度 赤い羽根共同募金の使いみち一例紹介



〔地域福祉助成事業〕
蚕飼地区まちづくり推進委員会
(イルミネーション整備)



〔地域福祉助成事業〕
千代川ボランティア会
(活動時のウインドブレーカー購入)



〔地域福祉助成事業〕
豊加美歴史研究会
(掲示用資材購入)



〔ファミリーサポートセンター事業〕
うえるきっず



〔地域子育て支援事業〕
防災ハロウィン



〔地域子育て支援事業〕
生活応援セット



その他の使いみちにつきましては
「赤い羽根データベースはねっと」
をご覧ください

↑「赤い羽根データベースはねっと」



皆さまのあたたかいご協力を
よろしくお願いいたします。

